第３回学校運営協議会報告

～地域社会との連携、学校と保護者（地域）との信頼関係について～

今回の学校運営協議会では第３０回みくまの支援学校の文化祭の見学と協議の二本立てでおこないました。普段から、子どもたちの活動を直接見ていただく機会はそう多くはありません。こういった行事等を通した児童生徒の活動を見学していただき、地域との連携や学校の教育活動の改善等につなげていきたいと考えて企画しました。文化祭の発表や販売活動を見た後には委員の皆様から励ましのお言葉や改善点等貴重なご意見をいただきました。今後の学校運営にもいかしていきたいと思います。

学校運営協議会の協議の様子

１　学校と地域社会との連携について

前回から引き続き児童生徒や学校と地域社会との連携、社会参加に向けて学校教育の中で必要な力などについて協議した。前回の学校運営協議会の内容と本校の運営委員会ワーキングのまとめを報告後、以下の意見が出た。

■地域連携

学校と地域の連携が実現すればすばらしい。今回の文化祭の太鼓の演奏などはもっと地域の行事等でも演奏すればいいアピールになる。（委員からの意見）

■地域・関係機関への啓発

新宮市の観光協会等でみくまの支援学校の作業製品の展示等をさせていただけないか相談させていただいている。外部の方からも製品の改善点などについて意見をいただくことも大切。（学校長より）

■学校の取組

今回の文化祭で販売活動などを通してお金を稼ぐということを知ったり、製品のクオリティーをもっと高めたりすることに取り組んでみてもいいのではないか。そのことを通して子どもたちが製品作りに対して意欲が向上することにつながる。（委員からの意見）

文化祭での販売活動(高等部)の様子

子どもたちの販売活動を見た委員の皆様からは、先生たちが大きな声を出して販売をアピールするのではなく、生徒たちが自主的に販売をおこなっているのが印象的でした。生徒自身が主役となってこういった活動を体験していくことがとても大切なことだと思います。今後も頑張ってください。（委員からの意見）

育友会防災研修部が設置した避難所を想定したパーテーションの体験

今回の文化祭の見学では、児童生徒が日頃から熱心に取り組んでいること、保護者の方々も学校の活動に積極的に取り組んでいることに対して運営協議会の委員の皆様も感心していました。協議の中でもまだまだ、みくまの支援学校のことを知らない地域の方々はたくさんいると思われる。まずは子どもたちのこと、学校のことを知っていただくことが重要なので積極的にアピールして欲しいとのご意見をいただきました。

3　学校と保護者(地域)との信頼関係作りについて

二つ目は学校と保護者の信頼関係作りについて協議しました。

■コミュニケーションを深める

学校と保護者との関係でもめ事になるときはほとんどのケースでコミュニケーションが不足している。お互いの顔が見える関係が基本となるので、何度も話し合いを重ねることが大切。

■信頼関係構築には時間が必要

保護者との連携を深めていくために、学校の情報を積極的にお知らせして、お互いの顔と顔が見える関係性が大切という意見がでました。

文化祭での販売活動(中学部)の様子

次回の学校運営協議会が今年度最後になります。学校の課題と今後の方向性を次年度に向けて検討していきたいと思います。